

**2019年度（第69回）北海道アマチュアゴルフ選手権決勝競技
兼
（第74回）国民体育大会ゴルフ競技（成年男子）最終予選会**

開催日：2019年6月8日（土）～11日（火）
会 場：札幌ベイゴルフ倶楽部

本競技はR&AとUSGAが承認したゴルフ規則（2019年1月施行）と下記のローカルルールと競技の条件を適用する。下記に参照するローカルルールの全文については2019年1月発効の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」を参照すること（www.jga.or.jpで閲覧可）。

別途規定されている場合を除き、ローカルルールの違反の罰は一般の罰（ストロークプレーでは2罰打）。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則18.2）

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。

2. ペナルティーエリア（規則17）

- (a) 片側だけ定められているペナルティーエリアは無限に及ぶ。
- (b) ペナルティーエリアが境界に隣接している場合、そのペナルティーエリアの縁はその境界まで及び、その境界と一致する。
- (c) №3・№6・№9・№12・№14・№16・№18 ホールにおいて、球が特別標示区域（赤玉にて標示）を最後に横切り、ペナルティーエリアの中で見つかるか、そのペナルティーエリアの中に止まったことが分かっている、または事実上確実な場合、規則17.1dに基づく処置、または追加の選択肢として1罰打を加えドロップゾーンに球をドロップすることができる。このドロップゾーンは規則14.3に基づく救済エリアである。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

(a) 修理地

- (1) 白線で囲まれた区域（マーキングされたギャラリー用の通路を含む）
- (2) 張芝の継ぎ目

プレーヤーの球が張芝の継ぎ目の中にあるか、触れている場合、あるいは継ぎ目がプレーヤーの意図するスイング区域の障害となっている場合、ジェネラルエリアの球は規則16.1b、パッティンググリーン上の球は規則16.1dに基づいて救済を受けることができる。

しかし、その継ぎ目がプレーヤーのスタンスにだけ障害となっている場合、障害は存在しない。救済を受けるときは、張芝の区域の中のすべての継ぎ目は同じ継ぎ目として扱われる。そのことは、球をドロップした後どの継ぎ目であってもプレーヤーの障害となる場合、たとえその球が基点から1クラブレングス以内にある場合でも、そのプレーヤーは規則14.3c(2)に基づいて要求されるように処置しなければならない。

- (3) パッティンググリーン上、あるいはフェアウェイの長さかそれ以下に刈ったジェネラルエリアの部分にあるヤーデージ用にペイントされた線や点は修理地として扱われ、規則16に基づく救済を受けることができる。ヤーデージ用のペイントがプレーヤーのスタンスにだけ障害となる場合、障害は存在しない。

(b) 動かさない障害物

- (1) 白線の区域と動かさない障害物がつながられている場合、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (2) 動かさない障害物で囲まれている庭園区域とその中で生長している全てのものは、ひとつの異常なコース状態として扱われる。
- (3) U字排水溝はジェネラルエリアの一部として扱われ、ペナルティーエリアではない。（例外：ペナルティーエリアとしてマーキングされている区域の中にあるU字排水溝）
- (4) 人工の表面を持つ道路に隣接しているU字排水溝はその道路の一部として扱う。
- (5) コース内にある防球ネットによる障害のため、規則16.1bの救済を受ける場合には、その障害物の上を越えたり、中や下を通さずに完全な救済のニヤレストポイントを決定しなければならない。

4. 不可分な物

次のものは不可分な物であり、罰なしの救済は認められない。

- (a) バンカーの縁の土留め用の構築物。
- (b) 樹木や他の常設物に密着させてあるワイヤ、ケーブル、巻物、その他の物。
- (c) ペナルティーエリア内にある人工的な護岸や枕木等の構築物。

5. 特定の用具の使用制限

- (a) プレーヤーが使用するドライバーは R&A が発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッドを持つものでなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。
- (b) プレーヤーは 2010 年 1 月 1 日に施行された用具規則の溝とパンチマークの仕様に適合するクラブを使わなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。
- (c) プレーヤーが使用する球は R&A が発行する最新の適合球リストに掲載されているものでなければならない。このローカルルールの違反の罰は失格。

6. プレーのペースについて (規則 5.6)

各ホールでのプレーに許される時間の限度を記載した「タイムパー」をスタート時に配布するので、これに遅れないこと。特別な事情もないのにこの時間より遅れた場合 (アウトオブポジション)、ストロークに要する許容時間を個別に計測する。

※アウトオブポジションに該当しなくとも遅れが生じていると委員会が判断した組に対してはペースの回復を求めることがある。

※特定の選手のペースが著しく遅い場合はその組がアウトオブポジションに該当しなくとも、その選手に通知した上でショットに要する時間を計測し、罰則を適用することがある。

(a) アウトオブポジションの定義

次の両方に当てはまった時、その組はアウトオブポジションとなる。

- (1) あるホールでのプレーを終えた時点で、スタートからそこまでの実際の所要時間の合計が、「タイムパー」に記載された時間をオーバーした場合。
- (2) 第 2 組以降の組では、前の組との間隔がスタート時点での間隔時間を超えた場合。

(b) アウトオブポジションとなった場合の措置

あるホールを終えてある組が特別な事情がないのにアウトオブポジションとなった場合、競技委員はホールとホールの間でその組全員にアウトオブポジションとなったこと及び次のホールから各プレーヤーの全てのストロークに要する時間を計測することを通知する。委員会がその組の各競技者のストロークに要する時間を計測し (c) の許容時間を超えた場合、プレーヤーに (d) の罰則が適用される。

例外：特別な事情 (ルーリングや紛失球等) があつたと委員会が判断した場合、委員会はその組に対して前の組との間隔を縮めるように求める。その結果、合理的時間内に遅れを取り戻すことができれば、各競技者のストロークに要する時間は計測しない。

(c) ストロークに要する許容時間

原則：40 秒

例外：パー 3 ホールにおいて最初にプレーする者、パー 4 とパー 5 のホールにおいて第 2 打地点から最初にプレーする者、パッティンググリーン周辺やパッティンググリーンの上で最初にプレーする者のショットの許容時間は 50 秒とする。

注：ストロークに要する許容時間の計測は、そのプレーヤーの順番が回ってきた時に開始される。

(d) 罰則

警告 — 委員会から口頭での注意

最初の違反 — 1 罰打

2 回目の違反 — 一般の罰 (最初の違反の罰に加えて適用される)

3 回目の違反 — 失格

注：アウトオブポジションとなった組は、その後で遅れを取り戻しても、そのラウンドが終了するまで持ち越される。

7. プレーの中断・プレーの再開 (規則 5.7)

次の信号がプレーの中断と再開に使われる

差し迫った危険のための即時中断 — 1 回の長いサイレン

危険な状況ではない中断 — 断続的なサイレン

プレーの再開 — 1 回の長いサイレン

注：危険な状況のためにプレーを即時中断する場合、すべての練習区域は委員会がプレーを再開するまで閉鎖される。閉鎖された練習場で練習するプレーヤーには練習を止めるように勧告し、それでも練習を止めない場合には失格となることがある。

8. 練習（規則 5.2）

(a) 規則 5.2b は次の通り修正される

競技の当日、ラウンド前やラウンドとラウンドの間に、プレーヤーは競技コースで練習してはならない。

このローカルルールの違反の罰

最初の違反 — 一般の罰

2 回目の違反 — 失格

例外：プレーヤーは競技日に練習用に用意されているコース内のすべての練習区域を練習のために使うことができる。

(b) 規則 5.5b は次の通り修正される

2 つのホール間のプレーの間、プレーヤーは次のことをしてはならない

(1) 終了したばかりのパッティンググリーンやその近くで練習ストロークを行う。または、

(2) 終了したばかりのパッティンググリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってパッティンググリーン面をテストする。

9. 移動

ラウンド中、プレーヤーは動力付きの移動機器に乗車して移動してはならない。ただしキャディーの乗用を認める。また、ストロークと距離の罰に基づいてプレーするプレーヤーは常に動力付きの移動機器に乗車して移動することが承認される。プレーヤーは違反があった各ホールに対して一般の罰を受ける。2 つのホール間の違反は次のホールに適用される。

10. キャディー

規則 10.3a は次の通り修正される

プレーヤーはラウンド中、委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用してはならない。

競技の条件

1. 競技委員会の裁定

競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

2. スコアカードの提出

プレーヤーのスコアカードは、プレーヤーが所定のスコアリングエリアから出た時点で競技委員会に提出されたことになる。スコアカードを提出する前にスコアリングエリアを離れる必要のあるプレーヤーは委員会にその意思を告げなければならない、そしてすぐに戻らなければならない。

3. タイの決定

タイの決定方法は該当する競技規定に定めるが、使用ホールについては競技委員会によってゴルフコースで公表する。

※マッチングスコアカード：以下の順序により合計スコアを比較し、成績の良いプレーヤーを予選通過者とする。

①2 ラウンド以上の競技の場合は最終ラウンドのスコア

②最終ラウンドの10番ホール～18番ホールの合計スコア

③最終ラウンドの13番ホール～18番ホールの合計スコア

④最終ラウンドの16番ホール～18番ホールの合計スコア

⑤最終ラウンドの18番ホールのスコア

⑥最終ラウンドの4番ホール～9番ホールの合計スコア

⑦最終ラウンドの7番ホール～9番ホールの合計スコア

⑧最終ラウンドの9番ホールのスコア

上記の方法でも決まらない場合は ⑨委員会によるくじ引き

4. 競技終了時点

競技委員会の作成した成績表が掲示された時点をもって終了とする。

注 意 事 項

1. アマチュア資格規則を遵守すること。不明な点は日本ゴルフ協会ホームページ(www.jga.or.jp)を参照すること。
2. 競技の条件やローカルルールに追加、変更のあるときは、倶楽部ハウス内並びにスターティングホールのティーイングエリア付近に掲示して告示する。
3. グリーンリーディング資料は、冊子の大きさが 17.8cm×10.8cm 以下で、冊子上の 5 ヤードの幅が 9.525mm 以下の縮尺のものを使用すること。規定外の資料の使用については規則 4.3 を適用する。
4. パッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
5. 練習は指定練習場で行い、打球練習場では備付の球を使用し、スタート前の練習は 1 人 1 コインを限度とする。
6. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場に相応しくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことがある。
7. 競技委員会は規則 1.2 に基づき、重大な非行があったプレーヤーを競技失格とすることがある。

競技委員長 星野 敏彦